

## こども福祉医療センター新施設の整備について

### 1 新施設整備の検討経緯

#### (1) 現施設の課題

##### ①施設の老朽化

- ・開設後50年が経過（耐震診断では、施設の一部に倒壊の危険性が指摘）

##### ②利用状況の変化

- ・入所児数の減少（定員160名に対し現員約30名）と外来診察・外来機能訓練の増加
- ・障害の重度化、重複化、多様化（重症心身障害児の増加）

#### (2) 「こども福祉医療センター整備検討委員会」での検討

平成22年2月に外部有識者からなる「県立こども福祉医療センター整備検討委員会」が、「民間が重症心身障害児施設と併せて一体的に整備・運営する肢体不自由児施設に対し、県が関与・支援を行うとともに、政策的な事業を県が委託する方式により整備すること」等を案とする報告書を知事に提出。

#### (3) 新施設整備の基本方針

整備検討委員会の報告を受け、利用者や関係団体等への説明会を実施し、意見等を聴いた結果、県内唯一の肢体不自由児施設である現在のセンターの機能を発展的に引き継ぎ、利用者の要望に応えられる充実した施設を整備することを最優先に、以下の方針により整備を進めることとした。

- ①今後も県内唯一の肢体不自由児施設の機能を維持し、サービスの充実を図るため、民間が整備運営する施設（民立民営）に対し、機能を充実・強化するための財政支援や政策的な事業の委託などによって、県が責任を持って関わっていく方式により、整備を進める。
- ②新施設の事業者は、重症心身障害児施設を一体的に整備運営できることを条件に公募により選定する。
- ③新施設の整備場所は、現在の水戸養護学校との連携・協力関係を重視し、「旧水戸産業技術専門学院跡地」とする。

### 2 事業者公募

#### (1) 公募条件等

- ①公募方法： 県内社会福祉法人（入所施設を3年以上運営）を対象に、プロポーザル方式により公募
- ②公募期間： 平成23年2月24日（木）～平成23年4月15日（金）  
※東日本大震災の影響により期間を延長
- ③整備を行う施設の概要  
肢体不自由児施設 入所定員：35名以上  
重症心身障害児施設 入所定員：60名以上
- ④建設予定地： 水戸市元吉田町（旧水戸産業技術専門学院跡地：県有地を売却） 約1.7ha
- ⑤主な機能： 現施設の機能の堅持  
機能訓練の充実、内科等の新たな診療科目の設置 等
- ⑥県の支援： 初期投資に対する一部補助（国庫補助制度に加え、県単独で10億円を補助）  
県の事業委託（在宅障害児の地域支援等）、医師等の県職員の派遣

#### (2) 事業者の選定

- ・応募法人数：1法人（社会福祉法人愛正会）
- ・外部有識者等による事業者選定委員会（4月22日開催）において、応募内容を審査した結果、応募法人が事業者として適当であるとの結論を得た。
- ・選定委員会の結果を踏まえ、新施設整備の事業者として社会福祉法人愛正会を決定。

## 「社会福祉法人 愛正会」による事業計画の概要

### 1 「社会福祉法人 愛正会」の概要

- (1) 会長 金川 一郎
- (2) 所在地 高萩市大字下手綱字大谷口 1,951 番地の 15
- (3) 福祉施設の運営実績
  - ・重症心身障害児施設「水方苑」
  - ・障害者支援施設「愛正園」
  - ・特別養護老人ホーム「松籟荘」「一想園」
  - ・介護老人保健施設「田尻ヶ丘ヘルシーケア」ほか

※医療法人として、田尻ヶ丘病院、やすらぎの丘温泉病院、安良川クリニックを運営

### 2 事業計画の概要

- (1) 定員等
  - 肢体不自由児施設：35名、重症心身障害児施設：100名
  - ※短期入所、日中一時支援：各10名
- (2) 延床面積、構造等
  - 12,378㎡（鉄筋コンクリート造、地上3階、地下1階）
- (3) 総事業費 約43億円（用地取得費2.3億円を含む）
- (4) 機能の充実等
  - ・機能訓練の充実

	理学療法		作業療法		言語聴覚療法		合計	
	現施設	新施設	現施設	新施設	現施設	新施設	現施設	新施設
総コマ数	7,934	19,520	5,333	14,640	2,581	7,320	15,848	41,480
配置人員	6	10	4	8	1 (1)	5	11 (1)	23

現施設 1日 8コマ（月～金 9:00～16:30）

新施設 1日 10コマ（月～土 8:30～17:30）

※1コマは1人当たり40分の訓練時間 現施設はH21実績

配置人員は理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の総数、（ ）は嘱託職員

- ・診療科目の充実
  - 小児科、神経小児科、整形外科、リハビリテーション科、内科
- ・18歳以上の障害者への診察・訓練の実施
- ・県立こども病院等関係機関との連携
- ・職員確保のための院内保育所（定員35名）の設置
- (5) 県からの受託事業
  - ・地域療育等支援事業（訪問リハビリテーション等）
  - ・発達障害児への医療的支援
  - ・小児リハ推進支援センターとしての事業
  - ・新施設への移行円滑化の支援事業（機能訓練の充実強化、水戸養護学校との連携維持）
- (6) 県への支援要望
  - ・初期投資 10億円
  - ・運営費への支援（県からの受託事業）
  - ・県職員の派遣
- (7) その他
  - ・防災対策として、避難用スロープの設置、非常用電源の設置、法人所有給水車の活用及び耐震性受水槽、井戸の設置
  - ・現センター跡地（国有地）を施設利用者のための公園、近隣住民をも含めた避難防災広場、駐車場として活用することについての提案
- (8) 今後のスケジュール
  - ・平成23～24年度 : 設計，施設建設
  - ・平成25年3月 : 施設開所（予定）